

プラグイン導入手順書

1. Moodleデータベースのバックアップ

導入済みのプラグイン「Moodle Adminer」を用いてデータベースにアクセスする

(テスト環境で導入されていたものですが、もし本番環境になれば事前にプラグインをインストールしておいてください)

ローカルプラグイン 			
Moodle Adminer local_adminer	3.2 (2016122600) 2016122600	アン イン スト ール	追加
バッジアクセス権限設定 local_ku_badge_access_ctl	2017050200	アン イン スト ール	追加
バッジコメント設定 local_ku_badge_add_comment	2017121901	アン イン スト ール	追加
バッジ詳細追加 local_ku_badge_add_detail	2017061401	アン イン スト ール	追加

[1] プラグインの入手先と機能

1. [General plugins \(Local\): Moodle Adminer](#) [local/adminer]
Adminer に基づいたプラグインで、
データベースサーバへのログインと phpMyAdmin が不要で、
異なるタイプのデータベース（MySQL, PostgreSQL, Oracle, MSSQL など）
を取り扱うことができます。
このプラグインのいくつかの特徴：
 - a. トリガ(trigger)を定義可能
 - b. フィールドの順序を変更可能
 - c. ビューを容易に作成・変更可能
 - d. ストアドプロシージャを作成可能
 - e. データベースの名前を変更した場合、データベースは変更されますが、phpMyAdmin のようにコピーはされません。
 - f. 参照整合性(referential integrity)を持つ外部キー(foreign key)を定義可能

[2] 使い方

1. 「サイト管理」→「サーバ」→「Moodle Adminer」をクリック
2. データベースを選択
3. メニューから所望の操作を選択して実行

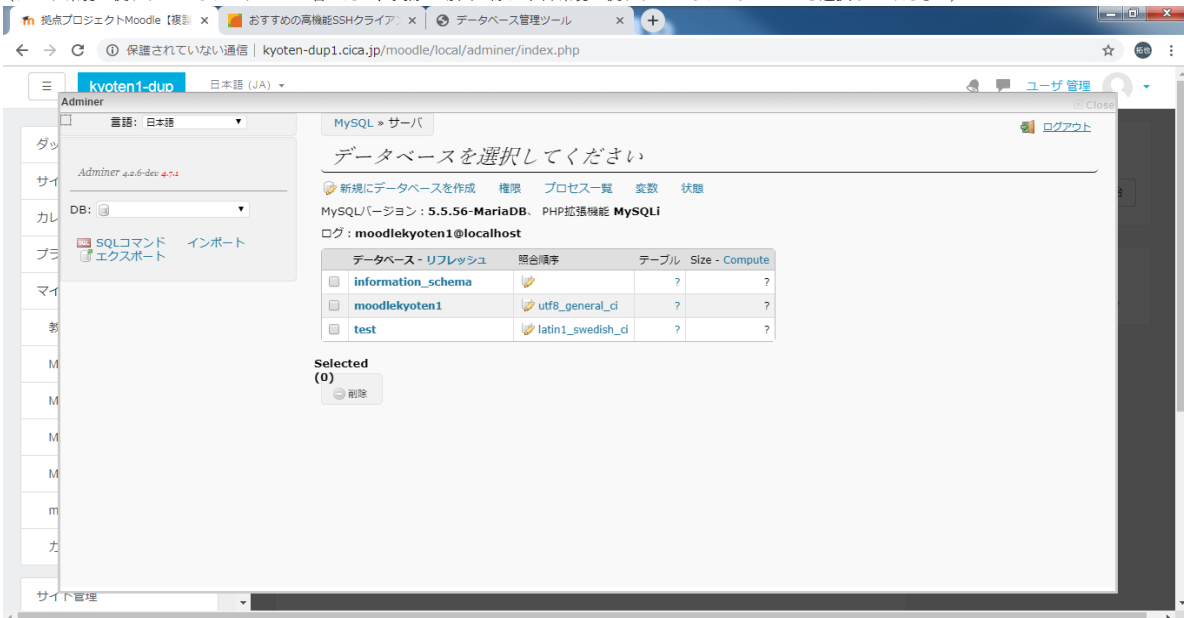
※PostgreSQL の場合、メニュー「エクスポート」がありません(桑田補足)。※本家 [Adminer](#) の最新版 4.2.3 も同様。

サイト管理 → サーバ → Moodle Adminer を選択する



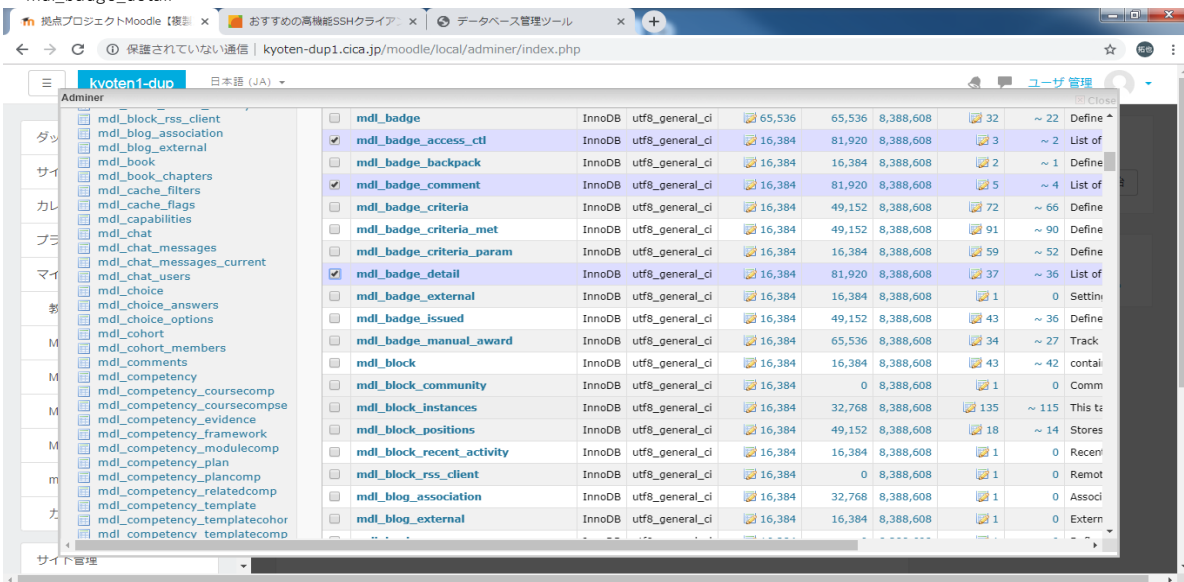
moodlekyoten1を選択する

(テスト環境で使われているデータベース名のため、実際の導入の際は本番環境で使われているデータベースを選択してください)

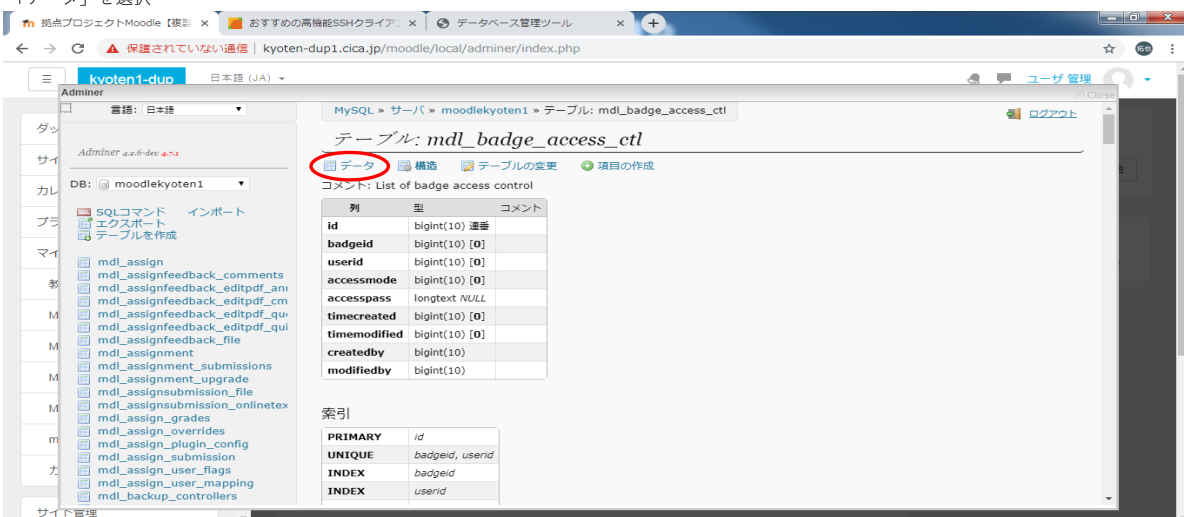


前回プラグインインストール時に作成されたテーブルのバックアップをとる。

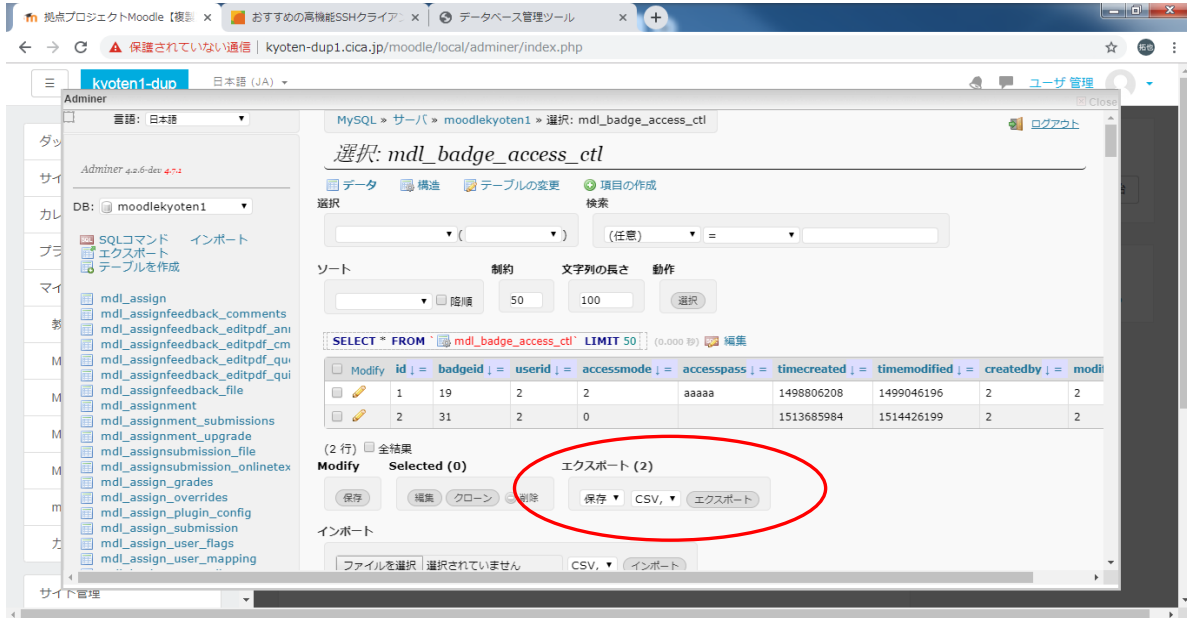
- ・mdl_badge_access_ctl
- ・mdl_badge_comment
- ・mdl_badge_detail



「データ」を選択

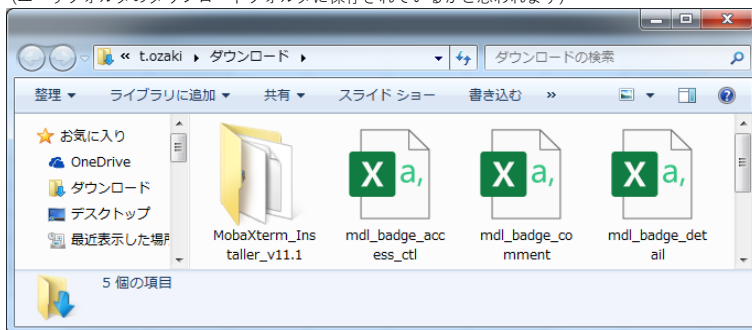


エクスポートの項目で、「保存」「CSV,」を選択し、「エクスポート」ボタンをクリックする



上記手順で3つのテーブルのCSVファイルを保存する

(ユーザフォルダのダウンロードフォルダに保存されているかと思われます)



2. 3つのローカルプラグインをアンインストール

サイト管理 → プラグイン → プラグイン概要 を選択

ローカルプラグイン

Moodle Adminer local_adminer	3.2 (2016122600) 2016122600	アン イン スト ール	追加
バッジアクセス権限設定 local_ku_badge_access_ctl	2017050200	アン イン スト ール	追加
バッジコメント設定 local_ku_badge_add_comment	2017121901	アン イン スト ール	追加
バッジ詳細追加 local_ku_badge_add_detail	2017061401	アン イン スト ール	追加

前回導入したプラグインの右側にあるアンインストールをクリックし、指示に従い削除する

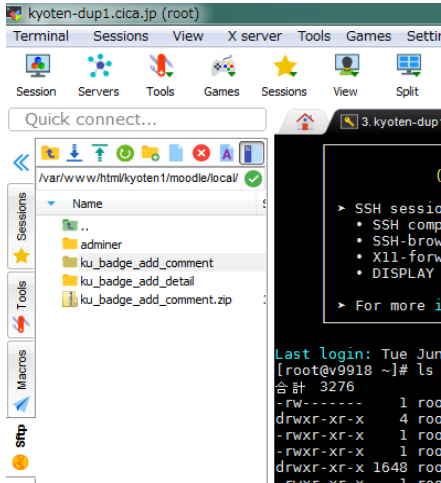


※「書き込み権限がないので手動で削除してください」と言われた場合は、サーバー上で直接削除をする

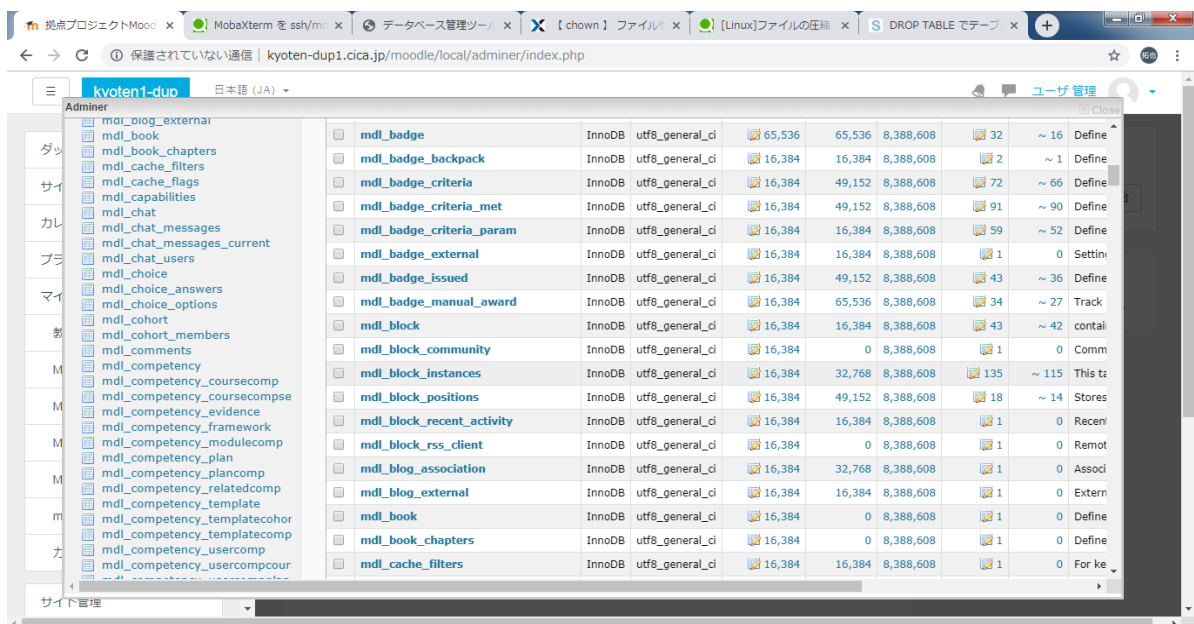
(この画面が表示されたら、サーバからフォルダを手動で削除後に「続ける」ボタンをクリックし、アンインストール作業を続けてください)



「MobaXterm」を用いてサーバーにアクセスし、local内の該当プラグインフォルダを直接削除する



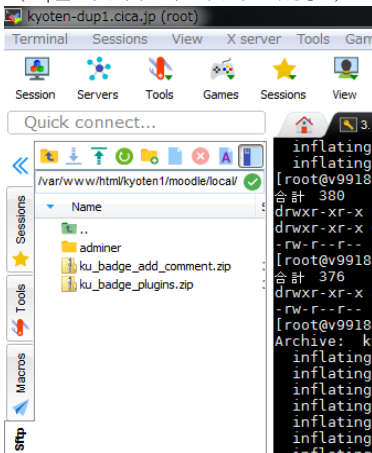
プラグインがアンインストールされ、データベースのデータが削除されていることを確認する



3. 統合プラグイン「ku_badge_plugins」をインストールする

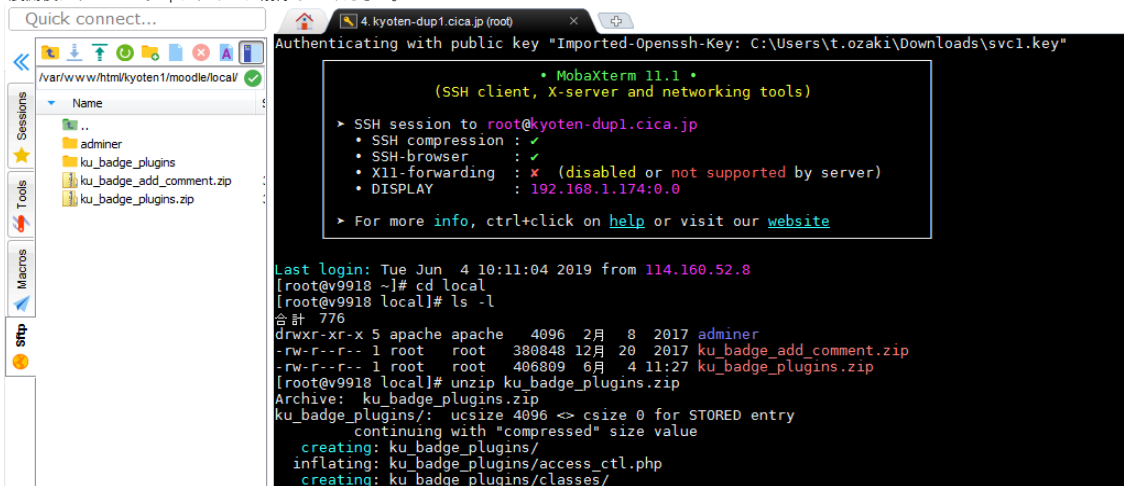
/var/www/html/kyoten1/moodle/local/に ku_badge_plugins.zip をデプロイする。

(sftp上にドラッグ&ドロップしてください)



zipファイルを展開する (# unzip ku_badge_plugins.zip でフォルダ内に展開されます)

展開後はサーバからzipファイルは削除してください。



Moodle画面で「ダッシュボード」メニューを選択すると、新規プラグインインストール画面へ遷移する

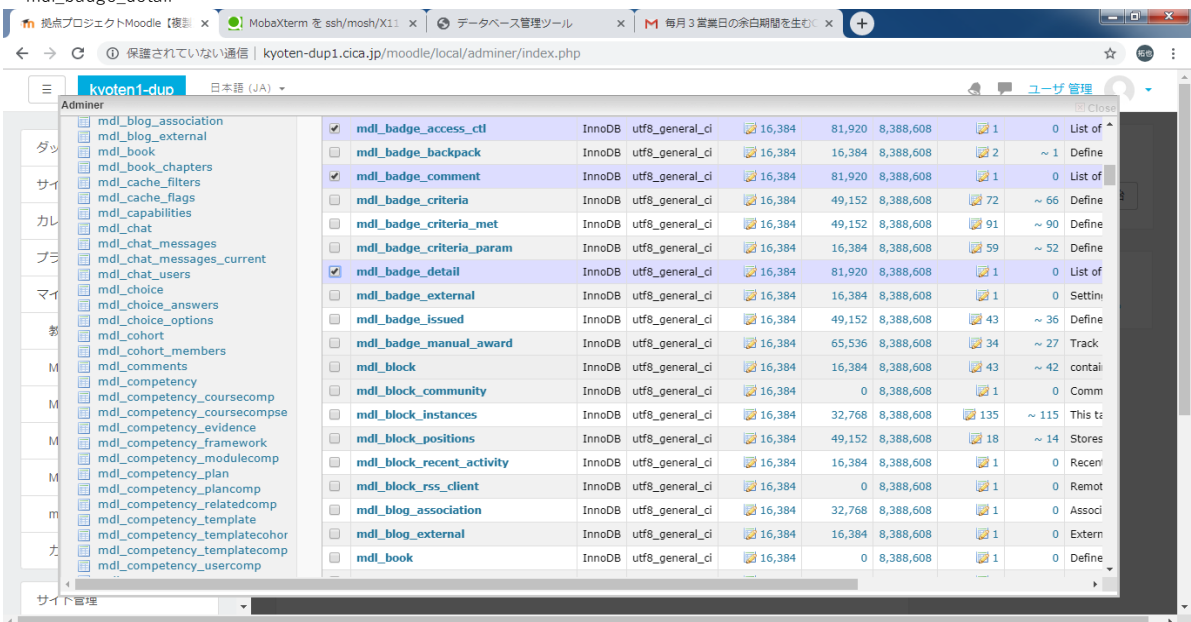


サイト管理 → プラグイン → プラグイン概要 から、プラグインが正常にインストールされていることを確認する。



データベースに3つのテーブルが作成されていることを確認する

- ・mdl_badge_access_ctl
- ・mdl_badge_comment
- ・mdl_badge_detail



保存していたバックアップファイルをインポートする

(エクスポートした手順と同様にテーブルのデータ画面に移移後、バックアップファイルを選択し「インポート」をクリックしてください)



Moodle画面で「ダッシュボード」メニューを選択すると、新規プラグインインストール画面へ遷移する



サイト管理 → プラグイン → プラグイン概要 から、プラグインが正常にインストールされていることを確認する。



データベースにテーブルが作成されていることを確認する

・mdl_badge_browse_history

